

教育班便り

8月 No.3

【学校教育の指導の重点】

- 重点1 豊かな心と健やかな体の育成
- 重点2 確かな学力の育成
- 重点3 家庭・地域と連携・協働した
創意ある学校づくりの推進

2学期がスタートして1週間が過ぎました。今年は夏休みが短縮され、またコロナウイルス感染症対策もあり、過ごし方に変化のある夏となったのではないのでしょうか。そのような中、資質・能力向上のために熱心に研修に取り組む先生方の姿がありましたので紹介いたします。

中堅教諭等資質向上研修会より（7月27日、30日）



今年度は5名の先生方が受講しています。所長講話では「中堅教諭」として自分の姿を捉え直したり、学校が果たす役割、教師の役割を改めて考えたりする機会となりました。

また、「特活」「総合」「道徳」に関する講義・演習や指導案検討・模擬授業等を通して、理論と実践を往還させながら学びを深めました。アンケートからは「『学校を支える力』を意識して取り組んでいきたい。」という声が聞かれました。5名の先生方の姿から「学校を支える力になろう。」という気持ちを感じることができました。

気仙沼市立面瀬小学校の制野咲先生、気仙沼市立条南中学校の岩城尚杜先生から、昨年度の課題研究への取組を踏まえた話題提供をしていただいたり、小グループに分かれて模擬授業を行ったりしました。

久しぶりに顔を合わせた受講者同士がよい刺激を与え合い、授業づくりへの新たな意欲をもつことができた様子でした。

初任研（2年目）事務所研修2より（8月25日）



スクールカウンセラー研修会より（7月21日）



気仙沼市立新城小学校の校内研修より（8月4日）

今後のよりよい相談活動のために、普段困っていることや共有したい事例などを発表し合い、カウンセリングの技法について理解を深めました。

宮城教育大学の児玉忠教授を講師に招いて校内研修が行われました。質疑応答の時間は、具体的な指導場面を挙げながら、様々な言語活動について熱心に質問する新城小学校の先生方の姿が印象的でした。授業づくりへ向けた熱意が伝わってきました。

